

鋁工業指数参考図表集
(平成29年8月速報)

平成29年9月29日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年8月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

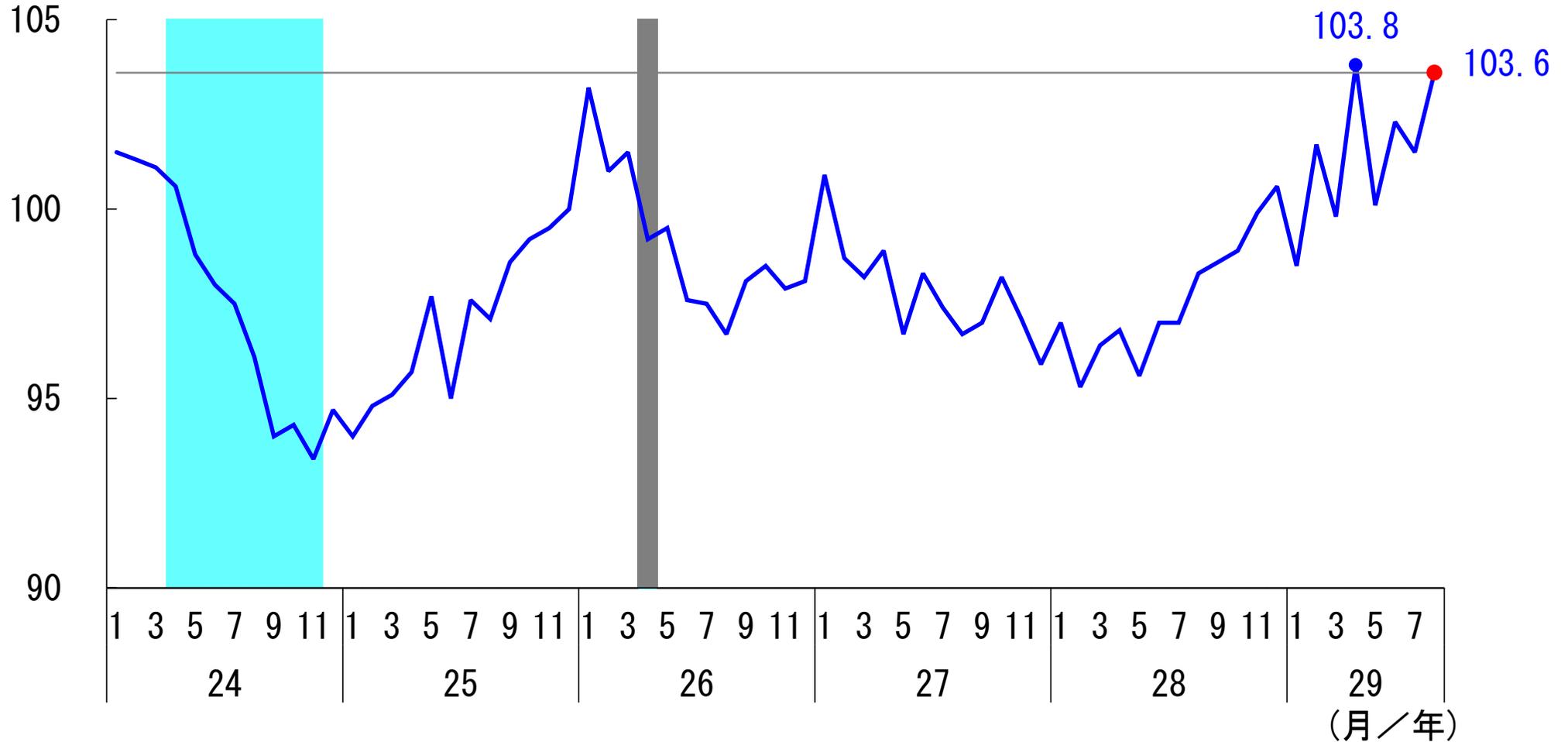
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	103.6	101.8	107.2	108.4
前月比	2.1%	1.8%	-0.6%	-4.3%
指数水準	H29.4 103.8以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H26.1 102.8以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H28.11 106.6以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.11 108.0以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H29.6以来)	2か月ぶり+ (H29.6以来)	3か月連続- (H29.6~当月)	2か月ぶり- (H29.6以来)
前月比幅	H29.6 2.2%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H29.6 2.5%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H29.7 -1.1%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H26.9 -5.4%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	5.4%	5.8%	-3.0%	-4.3%
前年同月比の動き	10か月連続+ (H28.11~当月)	10か月連続+ (H28.11~当月)	15か月連続- (H28.6~当月)	10か月連続- (H28.11~当月)
前年同月比幅	H29.6 5.5%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H26.3 6.5%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H29.3 -4.0%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H29.6 -4.3%以来 (超)H29.3 -5.1%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

1) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- ・平成29年8月の鋳工業生産指数は、103.6(前月比2.1%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成29年4月の103.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

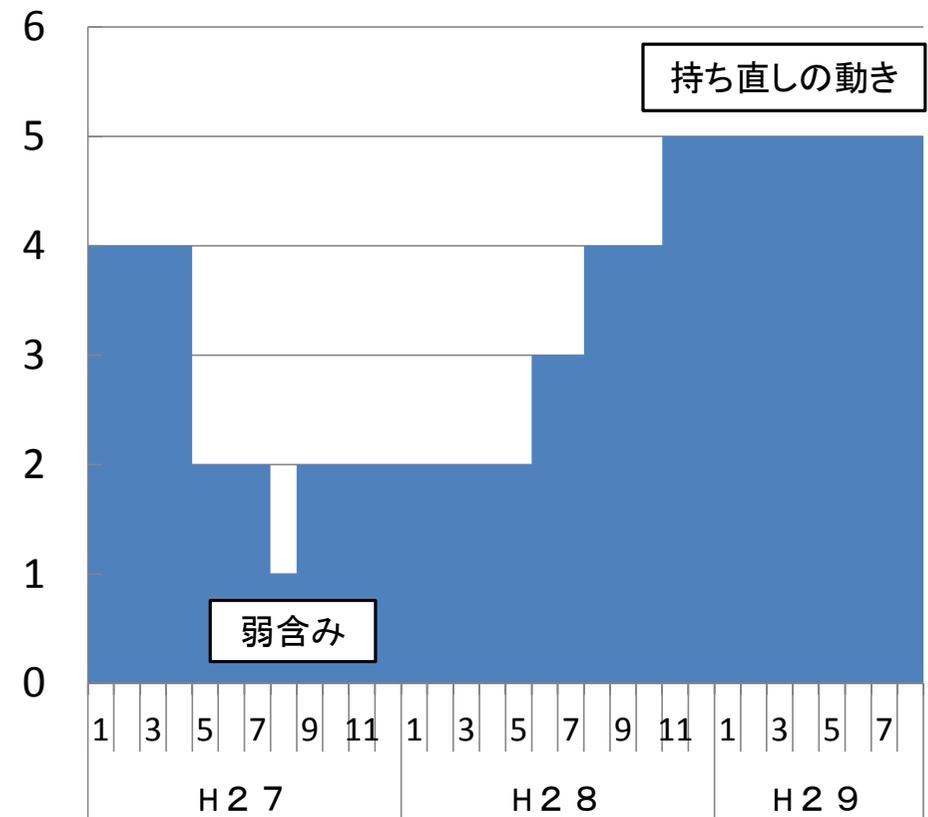
平成29年8月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

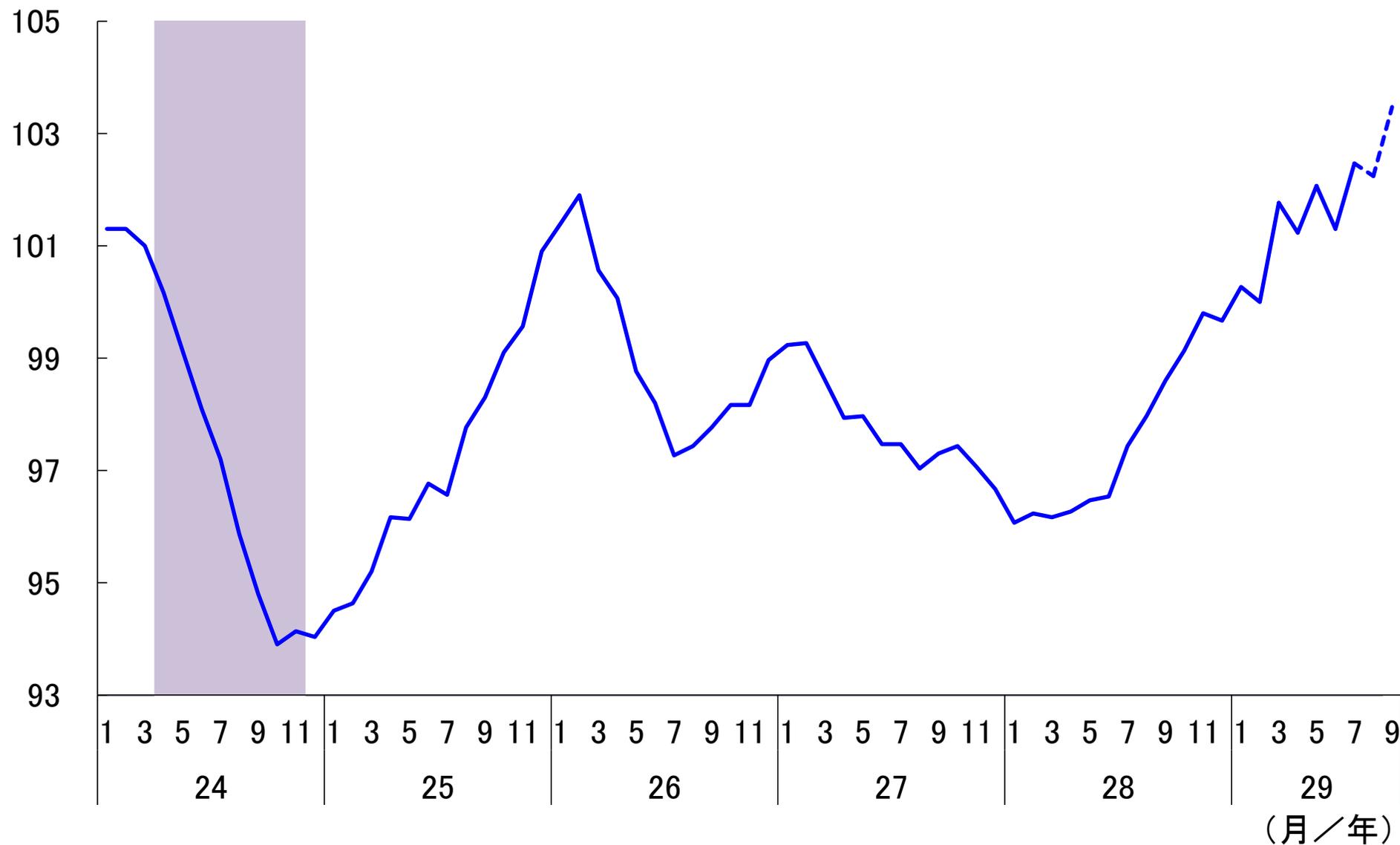
基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



（注）紫色のシャドー部分は、景気後退局面。

平成29年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	3.7%	27.3%
	品目	半導体・フラットパネル製造装置	10.7%	10.4%
		産業用ロボット	17.6%	10.0%
	2位の業種	輸送機械工業	2.4%	22.8%
	品目	自動車部品	4.0%	13.6%
		乗用車	1.9%	6.9%
3位の業種	電子部品・デバイス工業	1.8%	7.8%	
品目	集積回路	3.3%	5.9%	
	電子部品	1.1%	2.3%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業（除. 医薬品）	-0.7%	-3.4%
	品目	化粧品	-4.5%	-7.1%
		環式中間物	-4.1%	-0.9%
	2位の業種	石油・石炭製品工業	-3.9%	-3.0%
	品目	石油製品	-3.9%	-3.0%
		石炭製品	-0.6%	-0.0%
3位の業種	非鉄金属工業	-0.5%	-0.6%	
品目	非鉄金属地金	-5.3%	-1.4%	
	電線・ケーブル	-3.5%	-0.9%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	自動車部品	4.0%	13.6%
	2位	半導体・フラットパネル製造装置	10.7%	10.4%
	3位	産業用ロボット	17.6%	10.0%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	化粧品	-4.5%	-7.1%
	2位	金属工作機械	-6.0%	-3.7%
	3位	生活関連産業用機械	-13.4%	-3.4%

<財別＝用途別>

		解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	駆動伝導・操縦装置部品	1.8%	43.3%
			プラスチック製容器（中空成形）	9.3%	11.0%
				12.5%	2.9%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	半導体製造装置	5.3%	39.8%
			数値制御ロボット	11.3%	8.4%
				26.2%	7.7%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	セパレート形エアコン	2.0%	9.7%
			軽乗用車	11.3%	4.3%
				11.6%	3.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	橋りょう	-0.3%	-0.8%
			エレベータ	-15.2%	-3.2%
				-13.8%	-0.8%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	美容液	-1.0%	-7.0%
			モイスチャークリーム	-26.1%	-7.8%
				-17.4%	-2.9%

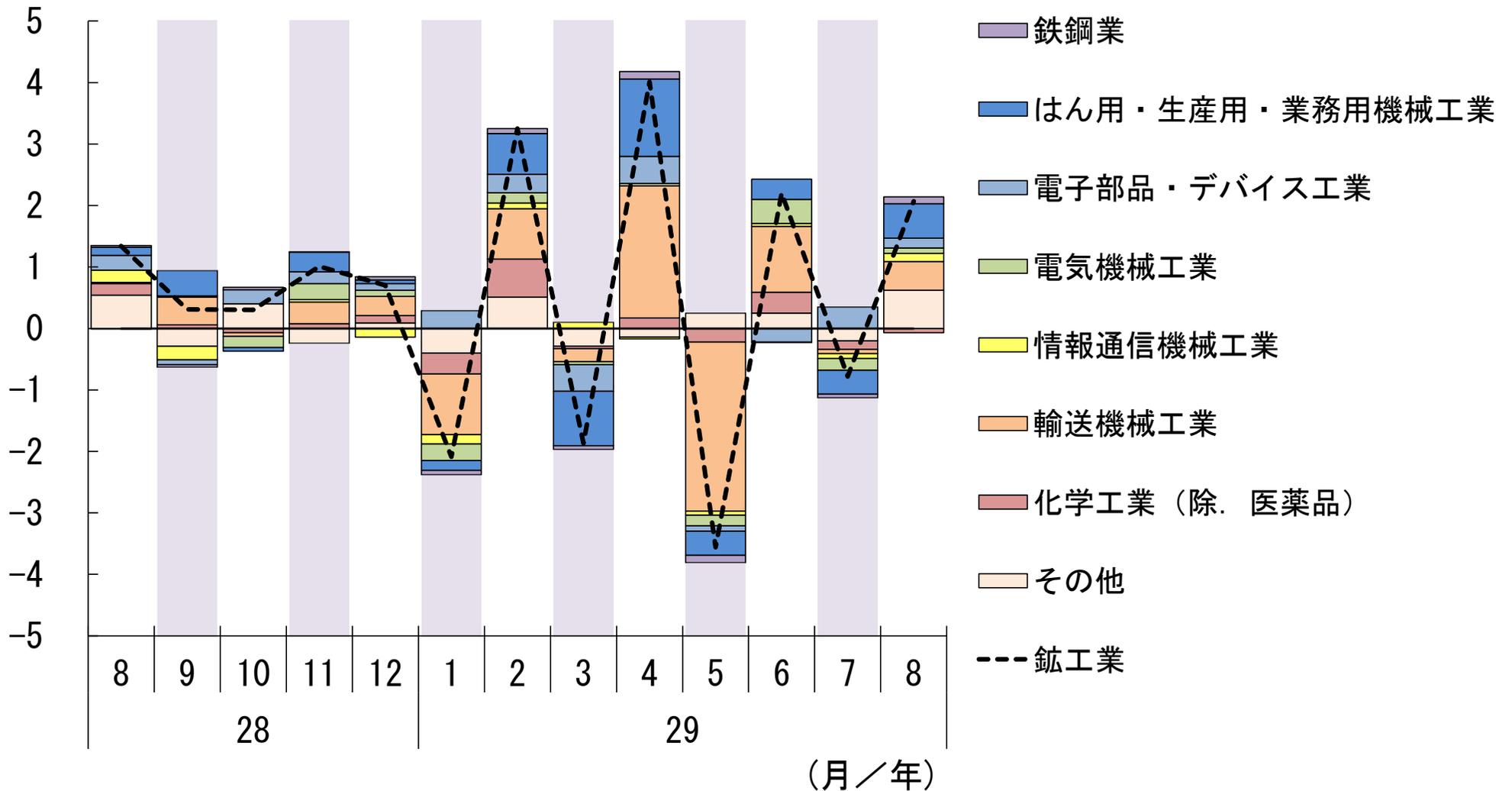
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

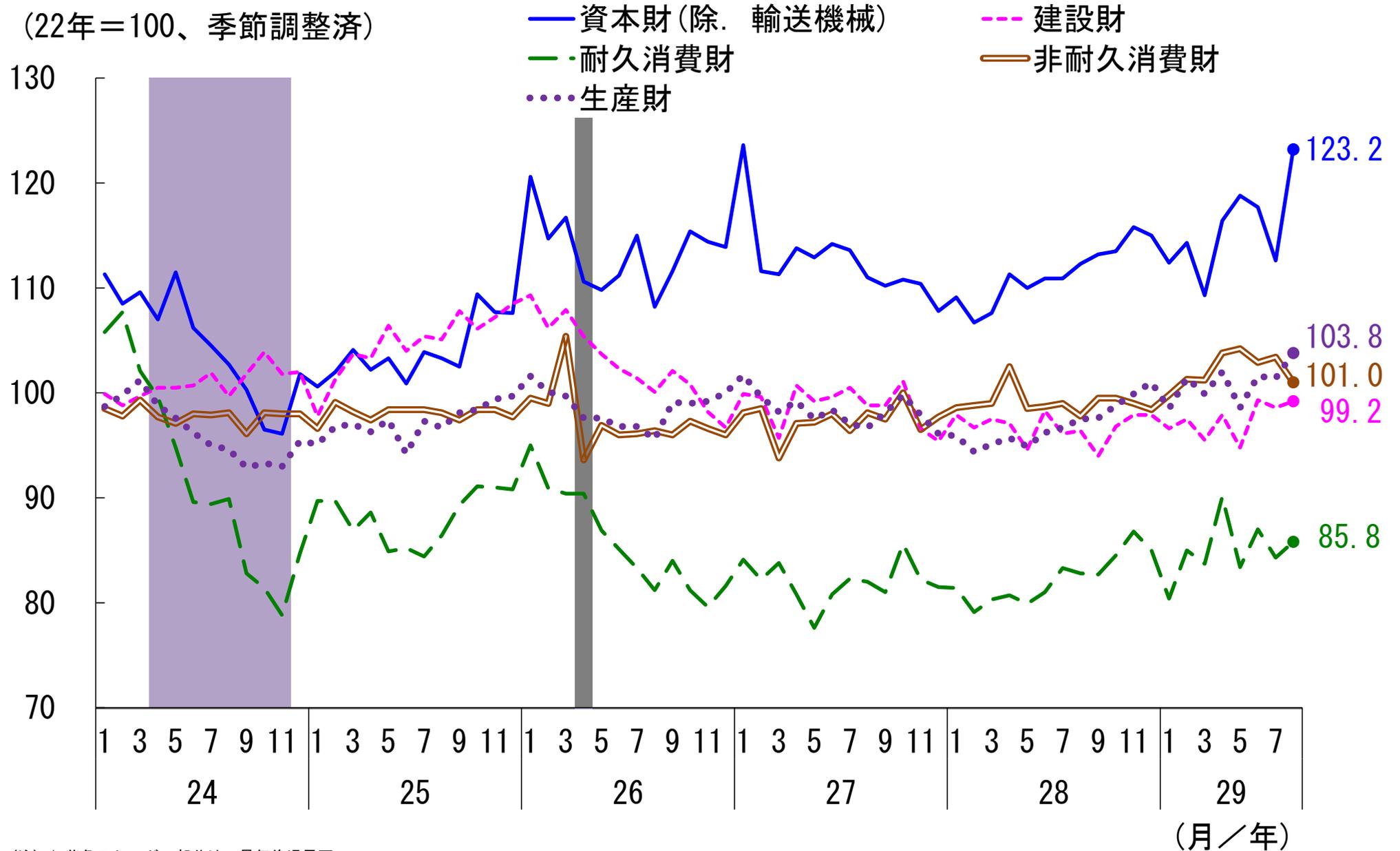
- 平成29年8月の生産指数は、化学工業（除. 医薬品）が低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前月比2.1%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



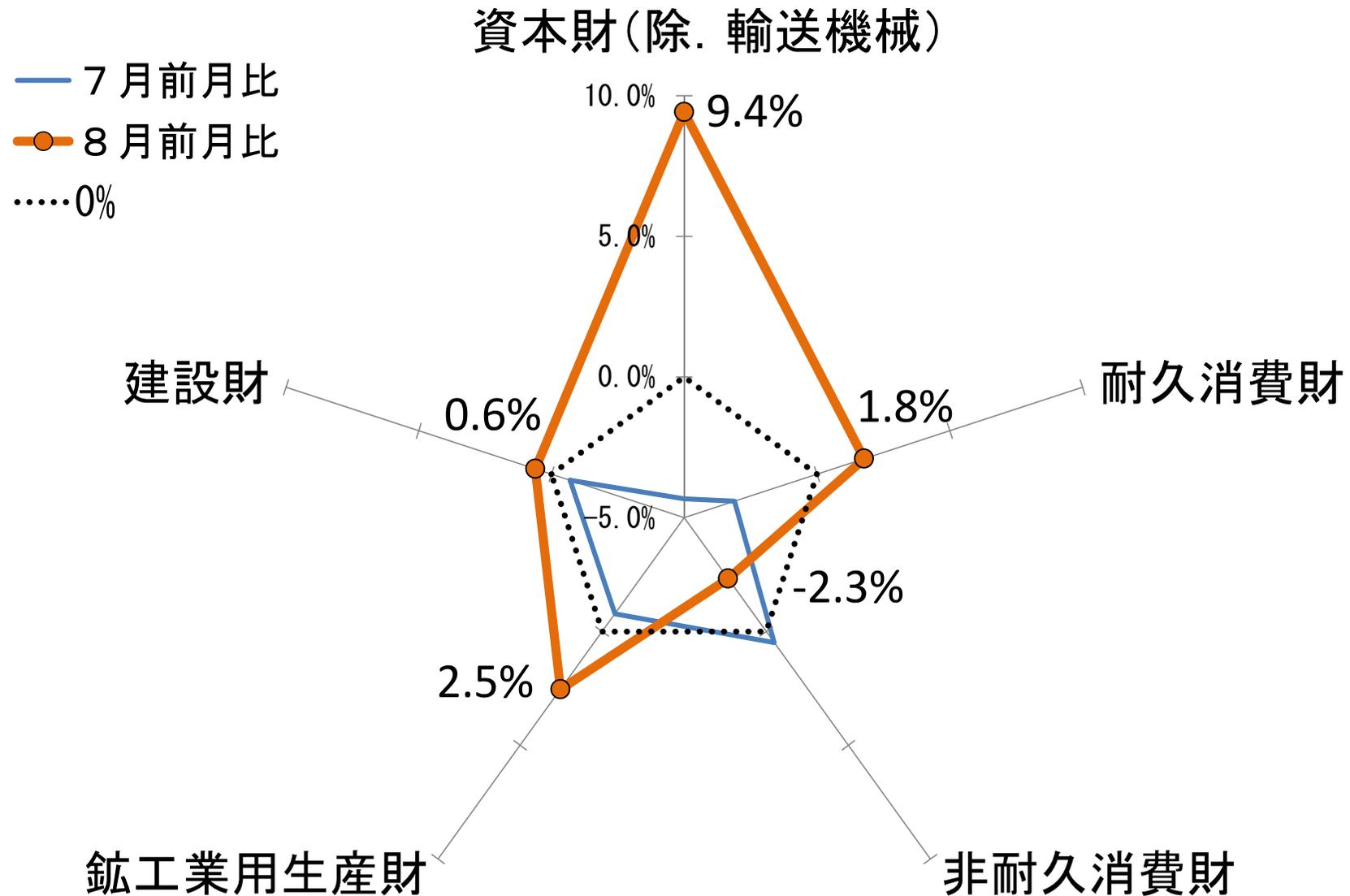
財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成29年7月、8月）



平成29年8月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

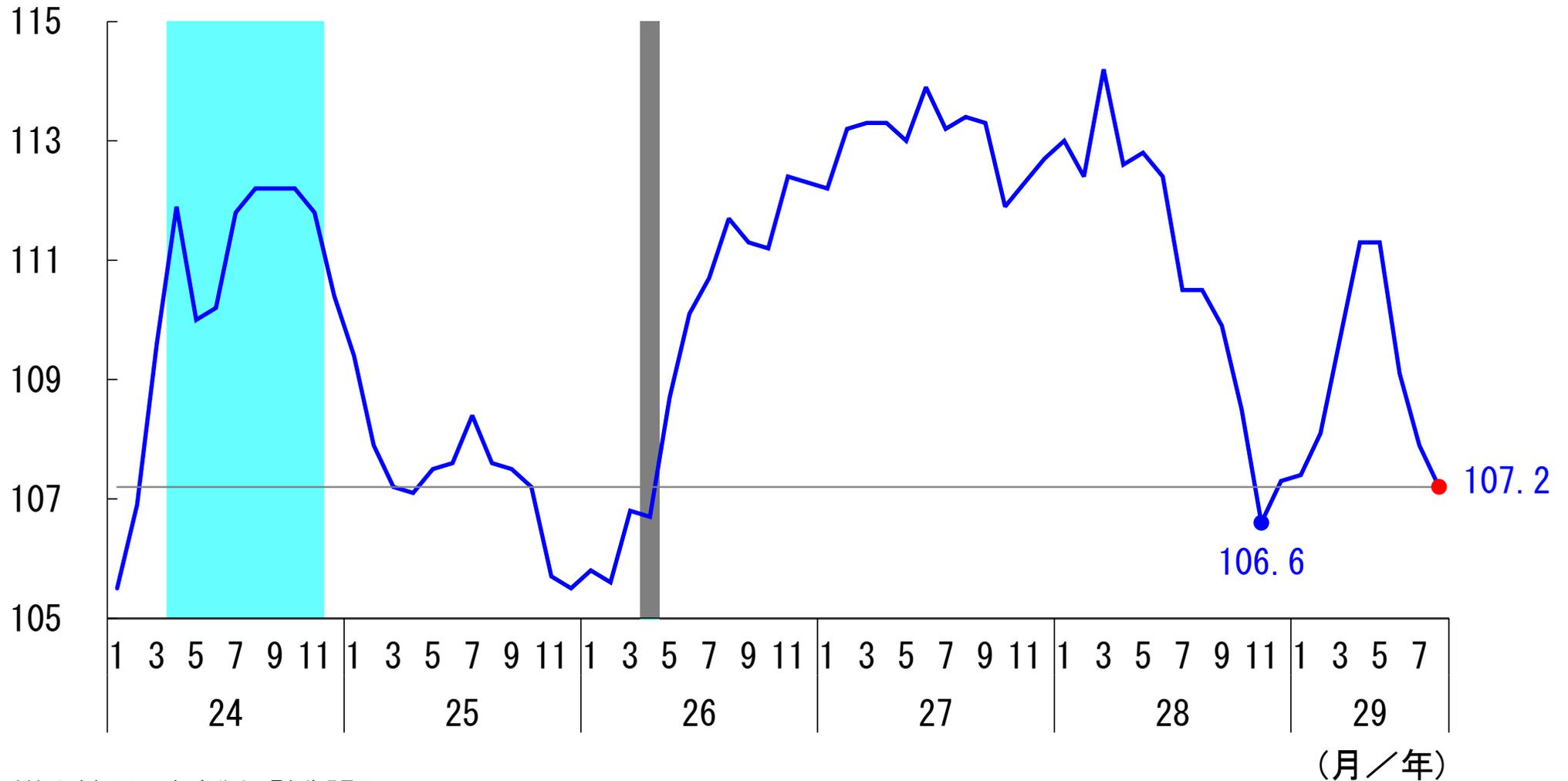
	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	9.4%	69.3%
		水管ボイラ	447.3%	22.2%
		数値制御ロボット	25.9%	6.1%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.4%	67.1%
		駆動伝導・操縦装置部品	9.6%	12.6%
		モス型半導体集積回路（CCD）	12.7%	6.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.8%	12.7%
		普通乗用車	2.4%	8.9%
		小型乗用車	4.9%	4.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.6%	1.8%
		ビル用アルミニウムサッシ	7.0%	0.9%
		ガス温水給湯暖房機	16.2%	0.8%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-2.3%	-15.5%
		ガソリン	-6.4%	-6.3%
		美容液	-14.8%	-2.6%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

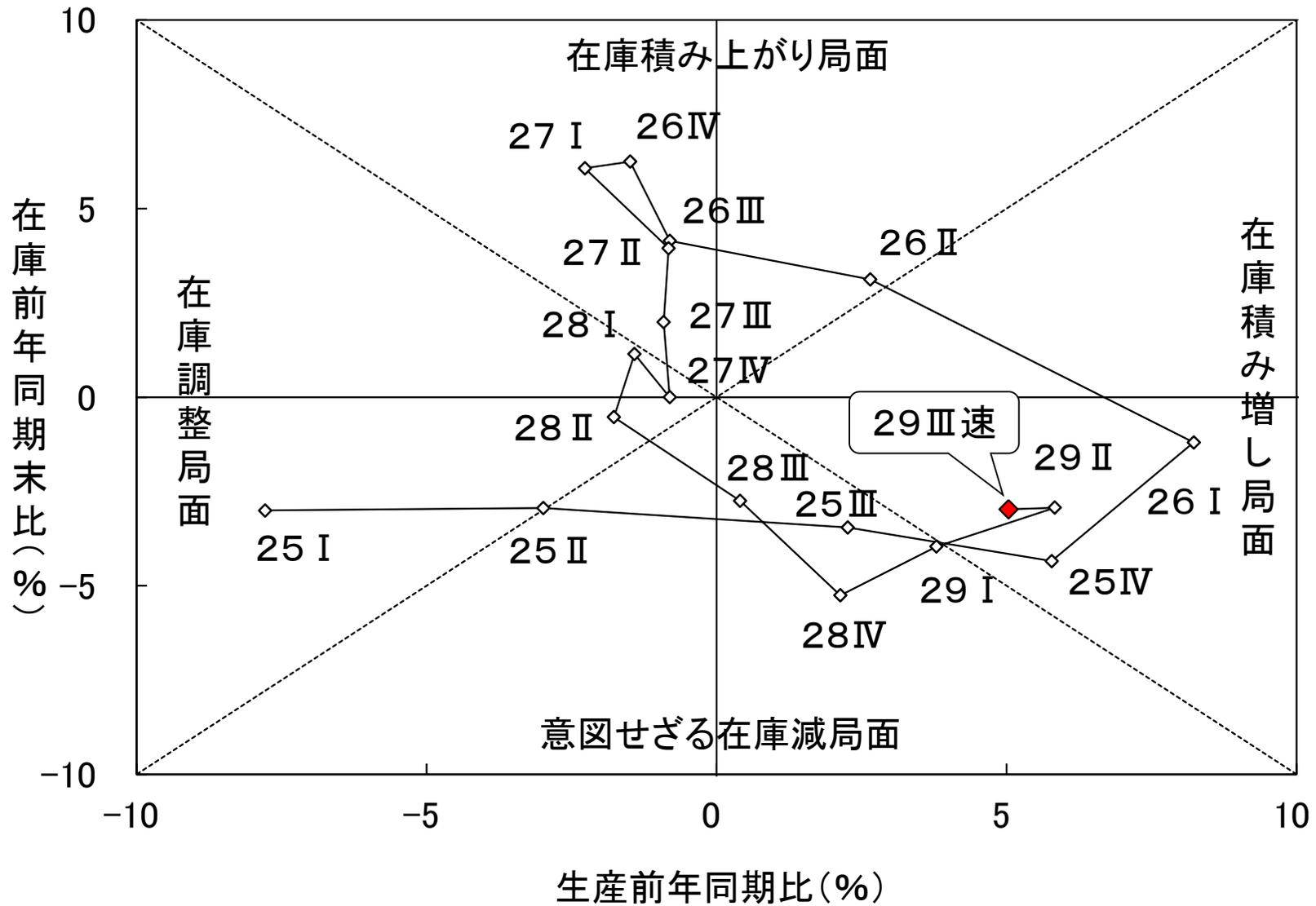
- ・平成29年8月の在庫指数は、107.2(前月比-0.6%)と3か月連続の低下。
- ・平成28年11月の106.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



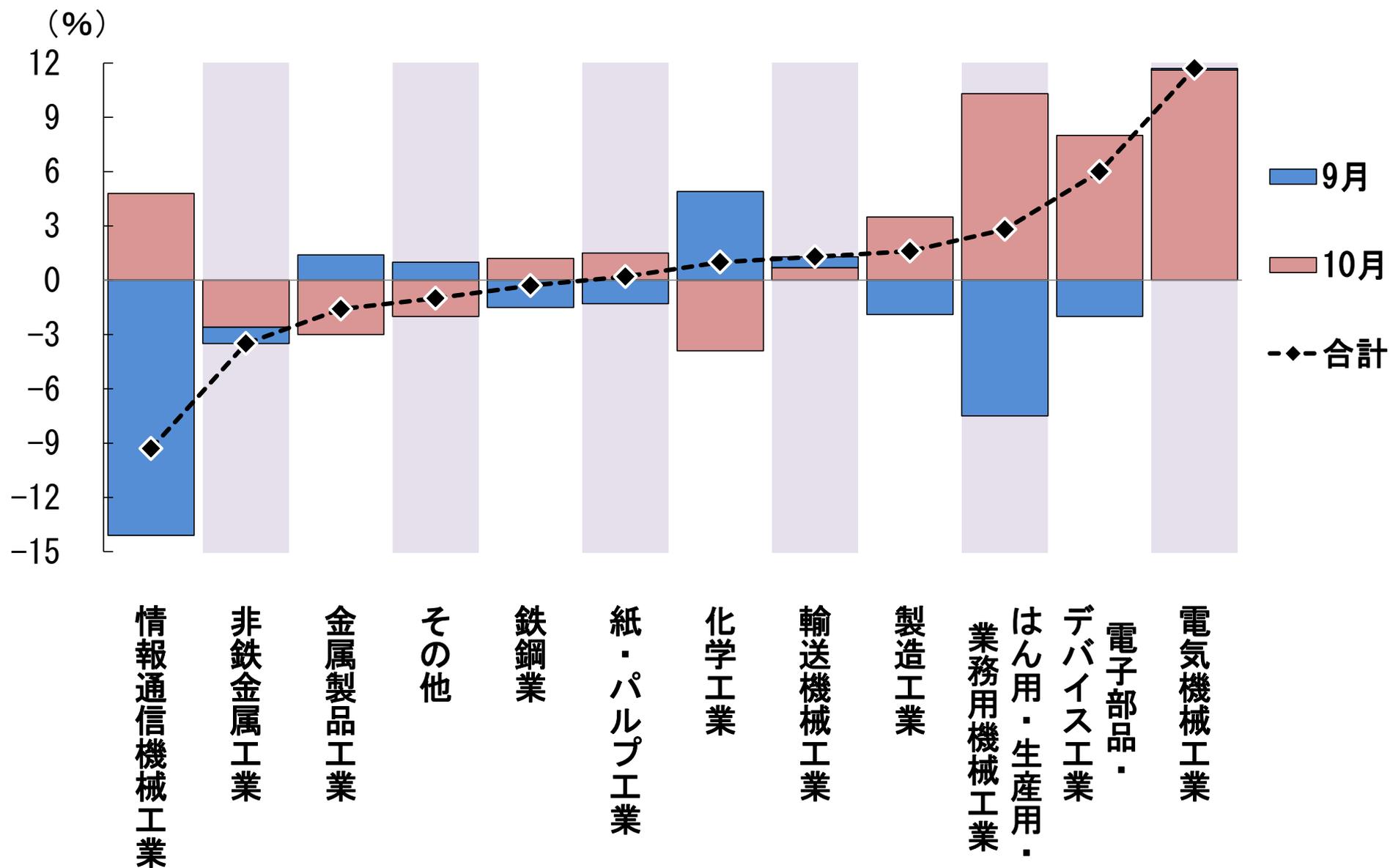
(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋳工業の在庫循環図



(注) 「29 III速」の生産は7、8月の平均値、在庫は8月末の値を使用。

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成29年9月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	4.9%
輸送機械工業	0.6%
その他	1.0%
金属製品工業	1.4%
電気機械工業	0.1%

低下寄与業種	計画前月比
非鉄金属工業	-0.9%
紙・パルプ工業	-1.3%
鉄鋼業	-1.5%
電子部品・ デバイス工業	-2.0%
情報通信機械工業	-14.1%
はん用・生産用・ 業務用機械工業	-7.5%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年10月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	10.3%
電気機械工業	11.6%
電子部品・ デバイス工業	8.0%
情報通信機械工業	4.8%
輸送機械工業	0.7%
鉄鋼業	1.2%

上昇寄与業種	計画前月比
紙・パルプ工業	1.5%
低下寄与業種	計画前月比
非鉄金属工業	-2.6%
金属製品工業	-3.0%
その他	-2.0%
化学工業	-3.9%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。